

ポイント17 親子で一緒に読むためのお話

聞いて、理解し、覚える

毎日子供の喜ぶお話を繰返して聞かせることが、効果の高い“言葉の教育”法なのです。子供は、好きな話は

何回聞いても決して飽きることはありません。子供のその要求に応じて何回でも繰返してお話をするのが大切です。

私も毎日毎晩、わが子にせがまれて話をしたものです。子供は決して新しい話をせがみません。毎日毎晩、同じ話を聞きたがるのです。それも一度や二度では満足しません。終るや否や「もう一回して」と言うのです。

そのくらい子供は“繰返し”が好きです。だから、子供の好きなお話は、決して“繰返し”があります。挑太郎では、「挑太郎さん、挑太郎さん。お腰に着けたものは何ですか」に始まる問答が三回繰返されます。猿蟹合戦でも、蟹が水をやりながら「早く芽を出せ柿の種。出さぬと鉄でちょん切るぞ」というせりふをやはり三回繰返します。子供はこの繰返しが大好きで、その三回目に子供の喜びは最高潮に達しま

す。

だから、この三回目は、特に力を込めて芝居気たっぷりに話してやりましょう。そうすれば、子供もそれに合せて得意気にせりふを話しましょう。ところが、この三回目を「同じようにして」と言って省略してしまう親が多い。これでは楽しさは半減、学習効果も半減してしまいます。

繰返しは、一見無益な行為に見えますが、これほど大切なものではありません。回を重ねるごとに習熟し、身に着き、能力が伸びるので、繰返しはいくら繰返しても、多過ぎるということはないものです。

コラム

部首 金

土の間に混入している金属の塊を表す 土と今との形声字。“金属”のこと。

【針】 十が本字。十は針に糸を通した象形。

【錦】 “金糸銀糸を織り込んだ帛”で金と帛との会意形声字。

【銀】 “金に続く”という意味で金に続く価値を持つ金属を表した字。